

スペシャル  
対談

# サンフレッチェ広島前社長 仙田信吾氏を客員教授に迎えて

## Special Talk



**せんだしんご**  
1978年中国放送入社。テレビ局長などを  
経て2011年に常務。2020年1月に  
サンフレッチェ広島社長、2025年1月  
から同相談役。2025年4月から本学客員  
教授を兼務。広島県府中市出身。



発行所  
広島経済大学  
広島市安佐南区祇園  
五丁目37番1号  
郵便番号731-0192  
電話番号(082)871-1000(代)  
ウェブサイト <https://www.hue.ac.jp/>

2-3面 ゼミの広経大をひもとく  
4面 目指せ！興動人  
5面 就職支援を振り返る／私のゼミナール雑感  
6面 学位記授与式／入学式

**学長** このたび、スポーツビジネスの最前線について学生に教えてもらうため、サンフレッチェ広島社長をお務めになった仙田さんをお客員教授としてお迎えすることにしました。

### スポーツビジネスの経験について

**学長** 社長時代の一番の出来事は、「エディオンビィスウイング広島」開業です。

**仙田** 国内初、街のど真ん中にスタジアムができたことで、観客動員数は大幅に増え、チケットは完売状態です。観客席から近いピッチと応援の歓声が迫力のスペクタクルを生み出し、広島の新なる感動拠点になっています。入場料収入、グッズ収入、広告費いずれも大きく伸びて、選手の大型補強が可能になり、勝利を重ねていくことで、お客様の関心がさらに高まるという好循環が生まれました。

**学長** 私も新スタジアムで試合を拝見して感動しました。紫のユニフォームを着たサポーターが市内中心地を歩く様子も壮観です。勝利した日には、飲食店でお祝いをする方も多く、うれし、広島経済への貢献は大きいですね。

**仙田** スポーツは成長産業

業です。今後、スタジアムは郊外型から市街地中心型へ、自治体から指定管理者の運営に変わり、総合運動公園といった名称から専用、あるいは多機能型スタジアムに変わります。スタジアムは、経済効果を生み、地域の知名度を向上させ、住民の一体感を醸成する施設に変貌していく。広島は新スタジアムを手に入れたことで、Jリーグを牽引するビッグクラブに成長する可能性を手に入れました。それをふまえると、「広島でスポーツビジネスをやる」というのは面白い。若い方に面白い将来を提供できる」と期待しています。広島は転出が多いことが課題ですが、これだけの感動舞台があれば、若者をつなぎ留められるはずですね。

### 仕事で大事にしていること

**学長** スポーツビジネスに触れる機会も多い広島は、それを学ぶ場としても最適です。多くのスポーツ団体が揃い、それを「われらがチーム」として育てる県民性があります。広島地の特性を活かして、本学はスポーツ経営学科を設置しました。スポーツを楽しむだけでなく、そのビジネスを学ぶのも面白いですね。

**仙田** スポーツビジネスの現場を経験して、他企業での、実学の経験があった方がいいと感じました。私はサッカー経験があります。社長として期待されたのは、観客動員、営業への貢献と新スタジアムをいかに各方面との調整でした。それが、就任した年の2月に1試合開催しただけでコロナ禍に陥り、130日間も試合が開催できませんでした。外出制限の中、スポンサーをつなぎ留めるため、直筆で便箋3〜4枚を200通書き、選手たちの

現状、フロントの動き、社会貢献活動などの実態をお伝えし、皆で乗り越えたいと訴えました。反響は大きく、手紙の力を実感しました。この年、Jリーグ全クラブの売上は激減し、広告費も700億円が500億円台に減るといふ苦境に陥ります。全58クラブ(当時)が新規獲得した広告費はたった2億円。この半分がサンフレッチェ広島でした。

とを恐れないようにと伝えていきます。あなたが本気なら必ず仲間が現れるから。本学の人材育成目標は「ゼロから立ち上げる」興動人で、そうした人は自ら夢に他者を巻き込む力があると思うのです。仙田さんはまさに興動人。モチベーションは何だったのでしょうか。

**仙田** 練習を見に行きまわってね。本場にひたむきに死に物狂いで練習に取り組んでいて、それを見て、彼らのために俺は働くしかない。私が子よりもっと若い彼らを、立派に経営として支えていくのが俺の仕事だ、それがモチベーションになりました。選手と握手をして、ピッチに送り出された。泥臭い営業です。また、コロナ禍で入場制限の中、来てくたさるお客様に、社長として感謝の言葉を始めました。雨の日も風の日も、おちちゃん一人で立つんですね。職員やお客様も、社長が何をされているのかと思ったりもしてました。ですが、結果が出れば伝わります。24年のホーム最終戦でスピーチした際には、私の拙い話に拍手と歓声が響き渡るといふ温かな雰囲気生まれ、お客様、選手、スタッフ一体になれたと感じました。

### 「スポーツの平和」の本当の意味

**仙田** 広島サッカーには奇跡の逸話があります。被爆のわずか2年後、広島市の町の風景が違って見えてきます。

**仙田** 観光客は平和資料館に行ったあと、広島が復興した秘密を知りたくなるそうです。そこにスポーツの力があつた。このスポーツの力による積極的平和を訴えようと、貴学の濱口博行教授にご協力いただき、「キャプテン翼」の高橋陽一先生にお願いいただきました。先生の壁面を見るためにやってくる世界の観光客に、「武器ではなくサッカーボールで正々堂々と戦おう」というメッセージが伝わるはずですよ。

**学長** 私たちも同じなので、よくわかります。若い学生の将来のために必死で働こう、と教職員も皆いつも言っています。また選手も、学生にとっても、ちゃんと見てもらっている、という気づきがパワーになることがありますね。

制中学校が全国大会で優勝するのです。校舎は倒壊したまま、グラウンドは芋畑になっていたのを辛うじて整地し直し、ボールは1個か2個しかなく、そのうえ殆どが被爆者でした。スポーツが、若者に生きる希望を与えたのです。私は、スポーツの平和として、広島の経験から、困難から立ち上がる人々の生きる勇気の源泉になるものだということをお伝えたいと思っています。

**学長** 仙田さんが民放時代に制作に関わられたマンガ本「広島復興」も、人々の決して屈しないという思いに焦点を当てた良書でした。教育の章には、本学の創設者である初代学長の石田成夫も登場しますが、未来をあきらめなかった人々の挑戦の結果が、今の広島だと思えば、美しいこの町の風景が違って見えてきます。

### 学生へのメッセージ

**学長** 教育の抱負、学生へのメッセージをお願いできるでしょうか。

**仙田** サムエル・ウルマンの詩「青春」が、私の行動の基盤です。「青春とは人生のある時期を言うのではなく、心の様相を言うのだ。優れた想像力、たくましく意志、燃ゆる情熱、怯懦を退ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こういう様相を青春というのだ」というものです。人として成長するには、挑戦が欠かせない。不安もありますが、わくわくしています。常に挑戦し続ける人材を育てるという、おこがましいですが、一緒に学んでいきたいですね。広島経済大学には大恩がありますから、しっかり報いますよ！

制中学校が全国大会で優勝するのです。校舎は倒壊したまま、グラウンドは芋畑になっていたのを辛うじて整地し直し、ボールは1個か2個しかなく、そのうえ殆どが被爆者でした。スポーツが、若者に生きる希望を与えたのです。私は、スポーツの平和として、広島の経験から、困難から立ち上がる人々の生きる勇気の源泉になるものだということをお伝えたいと思っています。



広島経済大学学長 石田 優子

制中学校が全国大会で優勝するのです。校舎は倒壊したまま、グラウンドは芋畑になっていたのを辛うじて整地し直し、ボールは1個か2個しかなく、そのうえ殆どが被爆者でした。スポーツが、若者に生きる希望を与えたのです。私は、スポーツの平和として、広島の経験から、困難から立ち上がる人々の生きる勇気の源泉になるものだということをお伝えたいと思っています。

# 大学の醍醐味はゼミだ!

ゼミの広経大をひもとく

広島経済大学では、ゼミナール(以下ゼミ)は1年次からスタート。4年間を通じてつながり続ける、ゼミでの学びと支援を紹介します。

広経大のゼミはここがすごい

【1】プレゼンスキルが身につく

本学のゼミの目標は、自己表現力・プレゼンテーションスキルの獲得です。そのために、発表を繰り返して経験を積みます。「明德館」のプレゼンテーションコートでは、本格的なプレゼンを体験できます!

【2】地域連携などゼミ活動が盛ん

社会科学系大学らしく、企業や地域団体と連携して課題に取り組むゼミ活動も盛んで、経験から学ぶ機会が多いことも魅力です。また、新入生ゼミナー、ゼミ合宿、ゼミ対抗スポーツ大会など、さまざまな活動を実施。世界遺産である宮島の厳島神社

【3】4年間を通じてステップアップを実感

1年次からゼミがスタート。大学の学びに必要な手法を身につける段階から、4年次の卒業論文・卒業制作を完成させる段階まで、4年間を通してゼミが展開され、着実なステップアップを実感できます。

【4】少人数制で安心

学生一人ひとりが議論に参加し、プレゼンテーションの経験を重ねることが可能な人数を設定。少人数制なので安心です。

【5】丁寧なサポート体制

研究指導はもちろん、大学生活についても教員は良きアドバイザー。また、就職活動など、担当の職員がゼミを通じて行う支援も充実。職員と教員が協力して、手厚いサポートを展開しています。



ゼミとは  
教員の指導のもと、学生が自主的に決めた研究テーマについての議論や発表を通じて、学びを深めていく授業形式のことです。ゼミ仲間との議論は、自分とは異なる考えとの出会いや、新たなアイデアの発見をもたらします。

## 座談会 経営学部経営学科 | 細井ゼミ |

# 企業と連携して社会課題に取り組む



経営学科 教授  
細井 謙一

経営学科 4年  
山口県/防府商工高校出身  
松永 美咲さん

経営学科 2025年3月卒業  
山梨県/日本航空高校出身  
山縣 亮太さん

社会科学系大学である本学のゼミでは、社会課題に取り組むところに面白さがあります。産学連携プロジェクトを通じて、企業に販売戦略や商品開発の提案を行っている細井謙一ゼミに、講義で学んだ理論をどのように活かしているのか、ゼミでの取り組みを聞きました。

【山縣】ゼミ生を4班に分けて、最初にお好み焼き店を取材しました。それから分析とアイデア出しを始め、4ヵ月かけて活性化案を練り上げました。

【細井】取材では、どのような発見がありましたか。

【山縣】店主さんたちは真剣に「おいしさ」を追求されています。山縣さんは3年次生の時に、ゼミ長として頑張ってくれましたね。

【山縣】お好み焼きは広島のスルフードです。私のゼミでは毎年、オタフクソース株式会社と連携して、お好み焼き店の活性化に向けたマーケティング研究会を実施しています。山縣さんは3年次生の時に、ゼミ長として頑張ってくれましたね。

【細井】私の班は、小麦アレルギーの方に来店していただけという、グルテンフリー(小麦不使用)メニューを提案しました。

【山縣】どちらの企画も、実現性の高い優れたプランです。オタフクソースの皆さんは「お好み焼き店専用の検索アプリ」を提案した班も高く評価していました。デジタルネイティブ世代だからこそ「若い世代に「刺さる」企画」だと思います。

【細井】容器の見直しは、着眼点がいい。ペットボトルはフタがあるので、ここ数年話題を呼んでいるトレンド「ちびだら(ちびちびだら)」飲み」に対応できます。

【松永】カゴメさんにも評価していただきました。ただ「ストローで飲める紙パックは口紅が落ちにくい」と女性に好評なので、容器変更は検討が必要」とのご指摘も。商品開発はハードルが高いと、改めて感じました。

【山縣】物事をあらゆる角度から分析するのは難しい。企業さんの的確な指摘で、私たちに足りないところが見えてきました。学生のうちから企業の方と一緒に取り組めた経験は貴重です。

【細井】ゼミでは、自分たちで課題を見つけ、答えを探し出すことが大事。実践の中で得た気づきは、皆さんの糧になります。

【細井】カゴメ株式会社とのマーケティング研究会はいかがでしたか。

【松永】私たちのグループは「デスクワークをしながら野菜ジュースを飲む」というシーンを想定して、紙パックからペットボトルへの変更を提案しました。

【細井】容器の見直しは、着眼点がいい。ペットボトルはフタがあるので、ここ数年話題を呼んでいるトレンド「ちびだら(ちびちびだら)」飲み」に対応できます。

【松永】カゴメさんにも評価していただきました。ただ「ストローで飲める紙パックは口紅が落ちにくい」と女性に好評なので、容器変更は検討が必要」とのご指摘も。商品開発はハードルが高いと、改めて感じました。

【細井】学んだことをアウトプットする作業として、プレゼンや論文は非常に重要です。宮島合宿では、皆さんの熱心な姿勢にいつも感心しています。

【山縣】自分も学生懸賞論文で奨励賞をいただいて、就職活動で胸を張って学業の成果をアピールできました。

【細井】ゼミ長として仲間をまとめる中で、対話力も磨けたと思います。

【松永】私もこの1年、ゼミ長を務めて行動力がついたと思います。細井ゼミは勉強だけでなく、大学祭での

### Seminar House



セミナーハウス「成風館」は、日本三景の一つである宮島の厳島神社近くに位置しています。学びや親睦を深めることを目的として活用されており、世界遺産の島での研修や合宿は本学ならではの特別な経験です。



「明德館」プレゼンテーションコートで発表



【細井】私のモットーは「大学は学問をする所」。学ぶだけではないと思うことが大切だということ。ゼミでは皆さんの自主性を重視し、切磋琢磨して学びを深める場にしたいと思っています。これからも共に学んでいきましょう。

# 1年次から始まるゼミ! スムーズに大学生生活のスタートを切ろう

大きな期待と同時に不安も抱えて入学してくる新入生。その不安を払拭するために、ゼミ単位で行う各種イベントを実施し、大学生活を豊かにする「友達との出会い」「教員との出会い」のチャンスを用意しています。

Enjoy!

HAPPY!

キャンパスツアーなどのオリエンテーション



入学後すぐにゼミ単位で合宿する新入生セミナー



一致団結! ゼミ対抗スポーツ大会



## 卒業論文 [題目例]

- ◆ 少子高齢化をもたらす労働市場への影響と対応策 - 労働力不足と非正規雇用の増加 -
- ◆ アニメ聖地巡礼の経済効果 - 観光地としての持続の可能性に着目して -
- ◆ 飲食チェーン店のマーケティング戦略 - 若者をターゲットとした新しいプロモーション活動の提案 -
- ◆ 企業の経営状況と社会的責任(CSR)への取り組みとの関係性
- ◆ IT企業によるJクラブの経営改革
- ◆ DX化が日本の企業競争力に与える影響 - 事例から考察する企業競争力向上の鍵 -
- ◆ インターネットメディアにおけるテレビ放送の現状と展望 - 若年層視聴者と放送局へのインタビュー調査を通して -

県外出身の私は、大学に入学した時、知り合いが1人もいない広島での新生活に不安でいっぱいでした。それを解消してくれたのが、1年次の大学入門ゼミ。担当の森山玲子先生は偶然にも私と同じ福岡県人で、学業はもちろん私生活も気にかけてくださり、とても心強かったです。2年次以降も、信頼する森山先生のゼミでお世話になりました。グループワークが多かったので、仲間と協力して課題に取り組む訓練ができたと思えます。発表の機会も何度もあり、ゼミ対抗グ

ループ発表で優勝した時は、自分の成長が実感できてうれしかったです。緊張しがちな私も、度胸がきました。地元での就職を希望していた私にとって、就職活動と学業の両立は大変でしたが、時間外でもメールで卒論を添削指導してくださるなど、親身なアドバイスを対応に安心して進めることができました。4年間ずっと在籍した森山ゼミは、私にとって「第二の実家」なんでも相談でき、安心して過ごせるゼミがありました。本当に助かりました。

私が所属した松田ゼミは、人前で発表する機会が多いのが特徴です。ゼミ生には、毎週3分間スピーチとプレゼンが課されます。プレゼンでは各自が選んだ論文をパワーポイントでまとめて発表。最初は大変でしたが、段々と「資料作成」「思いを伝えること」に自信ができました。卒業論文では「大学生におけるサッカー新スタジアムでのスポーツ観戦」を考察しました。苦労したのは、論文の土台になるアンケート調査。一人で悩んでいた松田先生は「一人に頼ることも大事。自分からアクションを起こしなさい」と一言。それを機に周囲へ協力を呼びかけ、無事にアンケート調査ができました。卒業執筆を支えてくれたのは、松田先生の親身な指導と、ゼミ生同士の励まし合い。さらに、自分が中学時代から陸上競技で培ってきた「諦めずやり遂げる力」も発揮。卒業論文完成というゴールにたどり着いた達成感は今も忘れられません。これからの人生、ゼミで得たスキルと、恩師や仲間との存在が、自分を支えてくれると確信しています。



2025年3月 経済学科卒業 福岡県/育徳館高校出身 佐々木 美友さん

あなたにとってゼミとは? 実家のように安心できる場所 厳しくも親身な指導で成長できる場



2025年3月 スポーツ経営学科卒業 茨城県/竜ヶ崎第一高校出身 小石原 映さん

## ゼミ最新トピックス

# ユニークなゼミからうれしいニュースが続々

### 情報処理学会で 学術研究活動の成果を発表

ビジネス情報学科 石野ゼミ



左から繁浪駿汰さん、山城めいさん

石野亜耶ゼミの学生2名が、画像処理や生成AIに関する研究成果を、約4,000名が参加する情報処理学会第87回全国大会で発表しました。繁浪駿汰さんのテーマは「キュウリの葉かきデータセットの構築」で、摘み取るべき葉をAIが判断してくれるシステムを発表。山城めいさんのテーマは「コーディネート画像の領域間情報を記述したアパレルデータセットの開発」。日々の着こなしを助ける実用的な研究です。二人の発表は、参加者から高い評価を受けました。

### 東京ビデオフェスティバルで 3年連続入賞&特別賞受賞

メディアビジネス学科 山田ゼミ



左から伊藤香さん、橋本智香さん、山下愛実さん、石野快さん、山田哲敬教授

山田哲敬ゼミの学生4名が制作した作品「21歳の伝承者～被爆80年へ 託された思い～」が、東京ビデオフェスティバル2025で入賞し、特別賞「ジャーナリズム賞」にも選ばれました。この作品は、最年少で被爆体験伝承者になった大学生の密着ドキュメンタリー。被爆体験の伝承の難しさと、そこに見いだされる希望を丁寧に描いています。指導にあたったのは、報道や番組制作に豊富な経験を持つ山田哲敬教授。山田ゼミは、今回で3年連続の入賞という快挙を成し遂げました。

目指せ!

Koudoujin

# 興動人

こうどうじん  
興動人とは

本学の造語であり、既成概念にとられない斬新な発想と旺盛なチャレンジ精神、そして仲間と協働して何かを成し遂げるのできる力を備えた人材を意味します。



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

広島経済大学には、大学生活を充実させる施設やサポートがたくさんあります。

今回は、キャンパスを知り尽くした先輩学生や教職員がナビゲーション。

2年次生以上の皆さんも「知っていて損なし!」の情報を一挙ご紹介します。

## 興動館教育プログラム

日本の大学では前例を見ないチャレンジ空間「興動館」。そこで展開される「興動館教育プログラム」は、本学の特色の一つです。実践を重視した学びで、実社会で活躍するために必要な「人間力」を育てています。

17プロジェクト734名  
が活動中

30科目33クラス  
のべ759名が履修



興動館プロジェクト  
「インドネシア国際貢献プロジェクト」



興動館科目  
「コピーライティング実践講座」

チャレンジしたい人におすすめ!  
興動館で待ってるよ!

コミュニティFM放送局運営  
プロジェクト副リーダー  
経済学科3年・山口県/  
聖光高校出身

吉本 郁弥さん



## 実践・経験の中から人間力を磨く

「ガクチカ」という言葉を耳にしたことがあると思います。就職活動の際に企業から問われる「学生時代に力を入れたこと」の略語で、2014年頃から使われ始めたようですね。大学生の本分は、まずは自身で選んだ学部学科の専門的な知識を修得することにあります。しかし、社会はそれに加えて、大学時代に何に打ち込んだか、その経験を通してどんな力を身につけたのかを重要視しています。本学では、2006年度に興動館教育プログラムを立ち上げ、学生たちが社会で活躍し充実した人生を送るための「人間力」の育成に力を注いできました。

興動館教育プログラムは、実践を通じて知識やスキルを身につける「興動館科目」と、まず行動することによって自らの成長につなげる「興動館プロジェクト」の2つからなります。

興動館科目は座学が中心の一般的な授業とは異なり、履修者たちが熱い議論を交わしたり、学んだ理論を実際の現場で実践したりします。興動館プロジェクトは、さまざまな社会課題の解決を目指す学生たちがチームをつくり、国際交流・社会貢献・地域活性・経済活動などの分野に関わるプロジェクトの企画・実行・予算管理といった全般において、主体的に活動しています。科目とプロジェクトに共通する魅力は、学部学科学年の垣根を超えた多様な仲間と出会い、共にさまざまなことに取り組む経験ができることです。これらの実践・経験の中から、コミュニケーション能力や主体性、協調性といった人間力を養っていきます。

興動館 館長 石田 真英



## 学習支援

授業でわからないことがあれば、ラーニングサポートコーナーへ。レポートの書き方や語学力の磨き方など、教員が相談にのります。先輩学生が親身になってアドバイスするチューデントアシスタント(SA)制度もぜひ活用を。



私たちSAと一緒に  
アドバイザーとしての  
新たな挑戦をしてみませんか?

スチューデントアシスタント(SA)  
担当科目:英語  
経済学科3年・島根県/  
安来高校出身

藤原 滯奈さん



## 女子学生支援

「女子学生支援センター」には職員が常駐し、キャンパスライフや進路などについて相談にのっています。また、女子学生が運営する「こまち会」では、ウェルカムパーティーなどを開催。新入生の友達づくりを応援します。



「こまち会」のイベントを  
盛り上げていきましょう!

こまち会リーダー  
経営学科3年・広島県/  
府中高校出身

宇野 萌乃佳さん



## 留学支援

10カ国以上の  
留学生が在籍

海外協定校は  
42校

広島経済大学には毎年、世界10カ国以上から留学生がやってきます。学内で気軽に国際交流をして、英語コミュニケーション力を磨きましょう。国際教育交流センターでは留学希望者を手厚くサポート。長期、短期の留学プログラムを紹介しています。



世界へ飛び立つ  
チャンスがいっぱい。  
僕はカナダに留学したよ!

メディアビジネス学科3年・  
広島県/崇徳高校出身

田村 昂樹さん



## 海外で自分を変えよう

これまで、海外はどこか遠いところの、自分には関係のないことだったかもしれません。でも、大学生になり、世界はあなたの目の前に大きく広がっています。国際教育交流センターでは、異文化交流以外でも自信をつけたい人、自立心を身につけたい人、価値観を変えたい人、これまでとは違う目標を探したい人...多くの学生の夢を応援します! 新たな一歩を踏み出すことで自分を変えたい人は、明徳館6階の国際教育交流センターへお越しください。



国際教育交流センター  
センター長

ジョージ・R・ハラダ

オススメスポット/  
図書館へ  
行こう!

広経大自慢の施設  
地上4階・地下2階建て  
の図書館。49万冊の図  
書や電子資料も充実。



3Fに  
「ラーニングラウンジ」  
OPEN!

学習やディスカッション、勉強の合間の休憩場所に便利。一人でもグループでも好きな時間に使っちゃおう!

みんな持ってる?  
LIBPO!



「LIBPO!(リブポ!)」  
誕生!  
本を借りてカードにポイントをためてオリジナルグッズと交換しちゃおう!





人事

◆教育職

担当科目: Basic Principles of Economics ほか
教授: Bienvenido S. Cortes

担当科目: 国際関係史ほか
助教: 柴田 佳祐

◆新任

担当科目: マーケティング論ほか
助教: 免内 祥子

担当科目: 英語理解・標準Iほか
講師: 是澤 克哉

◆昇格

担当科目: 必須英語B Iほか
講師: 湯浅 康弘

担当科目: 必須英語B Iほか
講師: 山本 貴裕

◆退職

名譽教授: 麦林布道 (むぎばやしのおみち)
令和6年12月21日、逝去された。享年98歳。平成10年退職され、本学の名譽教授となる。

◆事務職
(館長) 岡田浩典
(地域経済研究所) 岡田浩典
(地域経済研究所) 岡田浩典



3月18日 2024年度 学位記授与式

晴れて卒業の日を迎えたのは、学部生668名、大学院生11名それぞれが、石田優子学長から学位記を授与された。同時に教職員免許状伝達も行われ、免許状を受け取った。続いて、学業に優れ、他学生の模範となった卒業生に学長賞と優秀賞が贈られた。卒業生たちは輝かしい門出を祝福され、新たなステージへと巣立っていった。

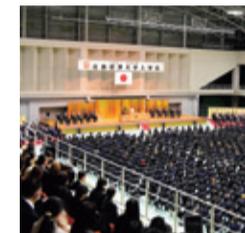
学長賞受賞者
山城 めいさん
2025年3月
ビジネス情報学科卒業
広島県・並木学院高校出身



「やりたいことに挑戦する」と目標を決め、勉強やプロジェクト活動、部活動と両立は大変でしたが、達成することができました。広島経済大学の挑戦できる環境と教職員のサポートに感謝し、これからも成長し続けたいです。

4月1日 2025年度 入学式

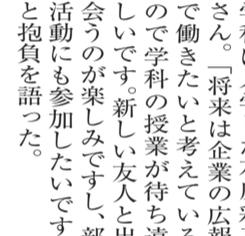
桜が咲き誇り、多くのご家族や来賓、教職員らが祝福するなか、学部生756名、大学院生11名が「ゼロから立ち上げる」興動人を目指して一歩を踏み出した。石田優子学長は式辞のなかで、建学の精神「和を以て貴しと為す」や大学開学の理想「大学の道は明徳を明らかにするにあり」を説き、そうした理念理想のもと、学びに向き合い、挑戦して経験を積むことの大切さを伝え、激励の言葉を送った。



なかく、建学の精神「和を以て貴しと為す」や大学開学の理想「大学の道は明徳を明らかにするにあり」を説き、そうした理念理想のもと、学びに向き合い、挑戦して経験を積むことの大切さを伝え、激励の言葉を送った。

新入生代表の決意表明

学部長を代表して「学術の研鑽に専念し、世界の平和・繁栄に貢献し得る人物となるべく、努力をいたします」と、力強く宣誓したのは、メディアビジネス学科に入学した石原彩乃さん。「将来は企業家の広報で働きたいと考えているので、学科の授業が待ち遠しいです。新しい友人と出会うのが楽しみです。部活動にも参加したいです」と抱負を語った。



山本貴裕教授が博士号を取得

2025年1月30日、教養教育部山本貴裕教授が博士(文学)の学位を取得した。本論文は、学会やメディア、一般の人びとのあいだで合意された定義の存在しない「福音派(evangelical)」の実像を求め、19世紀末から20世紀初頭にかけてのアメリカ合衆国、ハワイ王国、イギリスの具体的な文脈での「evangelical」の宗教的特性およびその政治的帰結を、彼らと反対の特徴を持つ人びとの比較において分析した。広島経済大学文学研究科

初めに、19世紀末から20世紀初頭にかけてのアメリカ合衆国、ハワイ王国、イギリスの具体的な文脈での「evangelical」の宗教的特性およびその政治的帰結を、彼らと反対の特徴を持つ人びとの比較において分析した。広島経済大学文学研究科

アカデミックの扉 door of Academic ~研究紹介~
経営学部経営学科 准教授 角 裕太
戦前日本における会計
現代とは異なる状況下にあった戦前日本において、どのような会計実践が展開されていたのかを明らかにすることが、私の研究テーマである。今回は、中でも植民地統治における会計実践について紹介したい。

退任
(令和7年3月31日付)
【図書館館長】
石田恒夫

BOOKS
◆広島経済大学研究紀要 第1巻 第2・3号 (2025年3月)
【論説】
日本企業のサステナビリティ経営におけるマネジメント・コントロール研究
一文獻調査からみる現状と課題— 棚橋 慶太(教授)
【研究ノート】
「総合的な探究の時間」を生かす高校カリキュラム・マネジメントの視点と方法—M高等学校での探究的な実践の吟味を通して— 胤森 裕暢(教授)
福山 亮(広島市教育委員会 指導主事)
内門 裕貴(広島市立美鈴が丘高等学校 教諭)
田中 智大(広島市立美鈴が丘高等学校 教諭)
島根県における情報産業振興政策の実態と展望 江成 稔(助教)
新谷 昌也(助教)
藤谷 麻菜(助教)
三苦 春香(助教)
研究紀要 第1巻 総目次
— 学生の皆さんへ —
「広島経済大学研究紀要」は先生方の最新の研究成果が掲載された電子ジャーナルです。広島経済大学機関リポジトリにて無料公開を行っておりますので、ぜひご覧ください。
広島経済大学リポジトリ https://hue.repo.nii.ac.jp/
これまでに本学から刊行された大学紀要のバックナンバー等もご覧いただけます。

第58期 学友会役員
【会長】 藤川健太 【副会長】 折出耀
【副会長】 平田由伸【財務部長】 土田篤知【書記部長】 西東靖葉【厚生部長】 道々藍【情宣部長】 佐々木楓真【渉外部長】 椿哉風汰【文化局局長】 ミリック新夢【体育局局長】 加藤弘己【大学祭実行委員長】 大石望天

本学図書館 所蔵書物紹介コーナー 「知の系譜」 No.60
ジャン=ジャック・ルソー 「エミール」 初版 1762年刊
Rousseau, Jean-Jacques, 1712-1778.
Emile, ou de l'éducation.
A la Haye [Paris]: Chez Jean Neaulme, Libraire [Duchesne], 1762.
本書は18世紀フランスで活躍した思想家ルソーが教育について論じた著書で、『社会契約論』に並ぶ代表作として知られている。架空の子ども「エミール」をルソーがあずかるという小説の形式をとりながら、子どもを中心とした自由で自然な成長を促す教育の重要性を説き、後世の教育理念に大きな影響を与えた。
幼少期から学校教育の機会に恵まれず、膨大な読書によって独学で幅広い知識と教養を身につけたルソーは、38歳で科学アカデミーの懸賞論文に入党して一躍時の人となり、本書を含む多彩な作品を執筆している。
当時のフランスは絶対王政下で厳しい検閲があり、本を出版する時は出版統制局から事前に許可をもらう必要があった。しかし、『エミール』にはキリスト教の宗教観と相容れない部分があるため、出版者は公式な許可を申請せず、国外で出版されたように偽装して発行した。本学が所蔵する初版本の出版地はオランダのハーグになっているが、実際はパリで別の出版者が手がけたことがわかっている。
初版発行からすぐに本書は禁書処分を受け、さらにルソーには逮捕状が出されたが、逆にそれが本書への関心をさらに高めることにつながり、複数の海賊版が作られた。そして国境を越えて広く普及していき、教育学の名著として現代も読み継がれている。